

# 解 答 速 報



## 昭和医科大学 一般選抜 I 期

英語

医学部受験予備校  
医特

1

1	2	3	4	5	6	7	8
C	C	A	C	D	A	B	B
9	10	11	12	13	14	15	
B	A	D	A	D	D	C	

2

1.	(I) C	(II) A	(III) C	(IV) D	(V) D
	(VI) C	(VII) A			
2.	(ア) on	(イ) to	(ウ) for	(エ) to	(オ) of
3.	<p>夕食中に政治や宗教の議論をしないという暗黙の了解のような、過剰な議論を避けようとする文化的な風習が廃れてきているため、そういった風習に従うことによって衝突が未然に防がれることもなくなってきたこと。 (98 字)</p> <p>[別解] 西洋でも、行き過ぎた口論を避けるための文化的戦略を発達させてきた。しかし、そのような伝統が廃れていくと、口論を避けるのに対してそのような伝統が持っていた効果もまた弱まっているということ。(93 字)</p>				
4.	(i) H	(ii) H	(iii) L	(iv) H	
5.	<p>昔は夫婦間の家事分担には議論が不要で、文化によって予め決定されていたということ。(40 字)</p> <p>[別解] 70 年前は、家事や育児の分担は文化によって暗黙の前提とされていたということ。(37 字)</p>				
6.	D				

3

1.	C	
2.	at・that・inseparably	<i>It is at such times that we also realise how inseparably mixed</i> our body and soul are.
3.	(i) B	(ii) D (iii) D
4.	comply	
5.	what	
6.	<p>人間の心と体は切っても切り離せないもので、病気は生存機能だけでなく、感覚機能も低下させる。そのため、病気の原因特定や治療だけでなく、感覚機能の再構築も視野に入れることで、医療の目標が補完される。(97 字)</p>	

## 【講評】

- 1: 文法・語法 4 択問題。2. 名詞の take 「見解」や、12 の There goes ~ (「～がなくなる」という成句表現) などは、知識的に知らなければどうしようもない問題だろう。5. not least because ~ 「～だからなおさら」、6. none the 比較級「(理由の分だけ) 比較級になりそうだがならない」、11. such that 構文の倒置形、14 の疑問詞強調構文などといった問題は、文法学習で目にしてきているはずだが、趣向を凝らした出題になっているため、暗記に頼らない本質的な理解が問われた。
- 2: 「high-context 文化と low-context 文化の違いから見る、通信技術の進歩によって加速化される現在の low-context 化」について述べた英文であった。空所補充、前置詞補充、文補充に下線部説明問題 2 題という問題構成であった。3. の 80 ~ 100 字説明は、直前の該当箇所の内容を盛り込みながら、so VS ~ の倒置構文を処理することがポイントであった。5. の 30 ~ 40 字説明の方は、「具体的に」書くには字数制限が少ないように感じた。的確な日本語でコンパクトに表現する能力が必要。前置詞補充の問題は、動詞とのコロケーションが問われ、動詞の語法知識がものを言う作りであった。空欄(IV)の relative を挿入する問題は、前後の文脈を正確に捉える必要があり、難しかった。
- 3: 「医学の目標を補完する感覚の再構築の重要性」について述べた英文であった。昨年に続き、100 語での本文要約問題が出題された。そのほかは、文補充、整序、語の意味選択問題が出題された。1 の文補充問題は、none the 比較級構文に着目し、“- なことがあるにもかかわらず、+ になる”という文脈を選べばよい問題だったが、正確な文法理解を要求された。2 の整序問題は副詞強調構文を作る問題で、整序の語数にしてはあっさり解ける問題だっただろう。そして、なんといっても 5 の本文要旨説明問題は 100 語記述という点からも大変なものだったと思われる。迅速な処理をするには、要旨要約問題が出題されていることを最初から認識した上で読解をすすめていく手法が望ましかっただろう。

全体として、昨年と似た出題形式と言える。分量は昨年並み。ただし、制限時間内にこれほどの記述量の処理の大変さを考えると、今年はその大変さがさらに増した印象である。合格には 65% 程度の得点を目指したい。



メルマガ登録（無料）または LINE 公式アカウント友だち登録（無料）で全教科閲覧できます！  
メルマガ登録は左の QR コードから、LINE 友達登録は右の QR コードから行えます。



<p><b>渋谷校</b> ☎ 0120-142-760 東京都渋谷区桜丘町 6-2</p>	<p><b>名古屋校</b> ☎ 0120-148-959 名古屋市中村区名駅 2-41-5 CK20 名駅前ビル 2F</p>	<p><b>大阪校</b> ☎ 0120-142-767 大阪府吹田市広芝町 4-3-4 江坂第 1 ビル 3F</p>
<p>個別専門館 <b>麹町 FC 校</b> TEL : 03-6272-4175 東京都千代田区二番町 8-20</p>	<p>提携校 <b>医学部特訓塾</b> TEL : 03-6279-9927 東京都杉並区阿佐谷南 3-37-2 第二大同ビル 2F</p>	